

# アニコム損害保険株式会社

山本真奈美様（人事部・係長）

## ■企業プロフィール

本社所在地	新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー39F
代表取締役会長	小森 伸昭
代表取締役社長	野田 真吾
設立	アニコムホールディングス株式会社：2000年7月5日 アニコム損害保険株式会社：2008年1月10日
社員数	287名（2015年3月末現在）
事業内容	ペット動物専門損害保険の取り扱い 対象動物：犬、猫、うさぎ、鳥、フェレット （日本初のペット動物専門損害保険会社）

## ■インタビューアー

東京富士大学 企業ビジネス研究同好会（顧問 黒田秀雄）  
中山彰都（3年）、林 青（2年）、李嘉馨（2年）、長田和也（1年）

■訪問日・2016年11月10日（木）



～貴社ではどのような人材を求めていますか？ また、どのようにして必要な人材を見極めますか？

アニコム損保は、日本初のペット保険会社でベンチャー企業からスタートしました。そのため、ベンチャー精神や積極性を持つ人材を求めています。

採用にあたりましては、新卒採用、中途採用に関わらず必ず面接を行い、その人の意思や意欲、特に入社後のキャリアビジョンについてじっくり伺うことで、当社に相応しい人材かどうかを見極めています。中途採用については、職歴を問わず募集しています。

～貴社の社員教育の特徴や、力を入れている点は何ですか？

大きく4つに区分されます。ひとつめは、先輩社員が新入社員に対しマンツーマン指導を行う「先輩社員制度」です。この制度により新入社員は、先輩社員との親しい関係を築くことができるという利点があります。先輩社員としても1:1対応であるため、新入社員の仕事を把握しやすく、管理職による部下指導以上に合理性が見込める制度だと捉えています。

2つめは「目標チャレンジ制度」です。上期・下期の計2回上司と面談し、前期の成果と照らし合わせながら当期の目標を設定します。アニコムの本質であるベンチャー精神を促し、現在の自らの実力の少し上の目標を立てることで着実に成果をあげ、目標をクリアしたことによる達成感によって、さらに仕事のモチベーションを上げることができる仕組みになっています。

3つめは、終業後、学びたい講座を受講できる「アニコム大学」です。終業後資格取得のための講座が自主選択制で行われています。これは社員の自主性の向上、スキルアップによる会社全体の成長への投資と言えます。

最後は、会社の成長のため定期的に社員の部署をシャッフルして刺激を与える「ジョブローテーション制度」です。業務のマンネリ化による作業効率・生産性の低下を防止するとともに、さまざまな業務ノウハウを知ることは他の部門での応用が可能になります。また異動時に引き継ぎ資料を作成する機会が増えることにより、知識の体系化や可視化によって頭の中が整理される効果に繋がります。

～ペット保険をより幅広い層へ普及させるために、どのような工夫をされていますか？

例えば、ペットをテーマにした「フォトコンテスト」を開催しています。コンテストで選ばれた写真を使用したカレンダーを作成することで既存顧客との繋がりを深めるだけでなく、ペットの写真が採用された飼い主による口コミや、ペット写真でラッピングした山手線の運行を通して、ペット保険の認知を広めていく広告活動にもつなげています。

また、ペットの保険証やペットショップ、動物病院、資料請求時に配布するパンフレットのデザインについては社内に所属しているデザイナーに依頼し、ペット保険そのもののイメージ向上に努めています。

それと、今まで保険加入対象は犬と猫のみを対象にしていますが、鳥やウサギ、ハムス

ターなど他の動物の保険プランも開発し、より多くのペットオーナー様の需要に応えるよう努力をしております。

～ペット保険には、大手や外資、異業種からも参入があり、競争が激化しています。こうした中で、どのように顧客を確保し、維持していこうとされていますか？

弊社の保険は、他社と比べ少々価格が高い保険プランもあります。しかし安易に低価格に走ることで、顧客を確保していく考えはありません。

国内の動物病院の6割にあたる約6000の病院と契約しているという強みもありますが、例えば関連会社であるアニコム先進医療研究所株式会社が、ペット用新薬を富士フィルム様と共同開発したり、ペットと飼主の腸内フローラ測定サービスを介してりするなど、アニコム損保でしかできないような独自のサービスを提供させて頂いています。これらの施策によって他社に真似できないような高付加価値を生み出ししており、それが顧客維持や新たな顧客獲得に繋がっているものと考えております。

～ペット共生型住宅の運用や、住宅メーカーとの提携をスタートされています。どのような観点から始められた施策でしょうか？

「どうぶつ共生型」賃貸マンション、アニコフローラシリーズの運用や、パナホーム様の戸建住宅「with pet」における業務提携などを行っています。

飼い主とペットが生活する家では、ペットにとって滑らない床、ペットが傷つかない土壁などの工夫が必要です。合わせて環境にも優しく、共に生活するペットが病気、怪我をしないなど、予防となる家づくりが必要です。私たちの家作りは、人とペットが共生するだけでなく、人も住みやすく健康に暮らせる家づくりを考えております。当社は、長年のペットへの研究やノウハウを活かし応用していくことで、他の企業に負けないようなペットと共生できる家づくりができるようにと努力しております。

～貴社は「予防」を付加価値としていくとのことですが、具体的にはどのようなことをされていますか？

アニコムの経営理念は「涙をなくして、笑顔を生み出す」です。何かあったときの保険サービスだけでなく、ペットが健康でいられるための支援策を重視しています。

ペットの中でも品種によってかかりやすい病気や、起きやすい怪我というものがあります。それらをマクロなデータとして当社が把握し、契約者様に対してメールで呼びかけたり、公式サイトで動画を使用したわかりやすい説明を行ったりして、注意や対策を呼び掛け、予防につなげようとしています。「ペットにも優しい家」へのリフォームの提案もその一環ですね。

### ～今後「予防」以外の付加価値の創造は考えていますか？

人間にも重要と言われている腸内細菌のバランスを整えるということも、ペットにも応用するように考えています。腸内細菌によってペットを体内から元気にしていけるフードの開発、また関連会社を通じて、そのようなフードの通信販売やペットショップ、動物病院での店頭販売などを予定しております。

### ～飼い主の方の高齢化や怪我、死去により、ペットの飼育が不可能になった場合のケアはどのように考えていますか？

ペットと飼い主が死に別れるのは深刻な問題であると認識しています。寿命という不確定なものが深く関わってきてしまうため、未だ模索中です。

しかしながら、一人暮らしの高齢者の方など、高齢者のペット保有率は年々増加の傾向にあります。高齢者の方がペットの飼育を望まれた場合には、比較的短命であるハムスターの飼育を勧めたり、飼主様に万が一のことがあった時もその後のペットの飼育費を補償する保険の開発を進めています。

### ～医療技術だけではなく、サービスを含めて海外へ向けての事業拡大は考えていますか？

アジア圏への M&A やベンチャーへの投資は考えていますが、案件が極めて重要なことであり、まだ詳しいお話をさせて頂く段階ではありません。

---

## ■インタビュー所感

このたび、アニコム損保様に訪問させていただきました。ペット保険という全く新しい事業を開拓したベンチャー企業であるということが、会社を挙げての社員教育に繋がっており、ひいてはそれが社員、会社の成長に繋がるという良い循環を作り上げています。

息苦しさや堅苦しさはオフィスの雰囲気からは感じられません。サービス内容の向上や、新しいペット向け商品の開拓に対する意欲が社内の雰囲気からも伝わってきて、社員全員がベンチャー精神溢れ仕事に打ち込む様子を見てとることができました。

今回の訪問を通じて、仕事だけではなく日々の生活にも必要なベンチャー精神というものを学ぶことができました。山本様、ありがとうございました。

(経営学科1年・長田和也)